

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	新規 卵巣がん血清腫瘍マーカー Fully-sialylated alpha-chain of complement 4-binding protein (FS-C4BP) 及び FS-C4BP 測定時に得られる糖ペプチドピークデータを用いた Comprehensive Serum Glycopeptide Spectra Analysis (CSGSA) 値の有用性検討
	研究目的	卵巣がん検診は確立されておらず、既存の卵巣がん腫瘍マーカーは検診に用いられるだけの力がありません。この研究では、優れた新規卵巣がん血清腫瘍マーカー候補として発見した FS-C4BP 有用性を、複数の研究参加施設から集めた卵巣がん患者さんの血清を用いて、他のマーカーと比較検討します。また、FS-C4BP 測定時に得られる、糖鎖修飾を受けた FS-C4BP ペプチド(タンパク質の断片)の包括的なパターンも、マーカーとして活用できないかもあわせて検討します。
	研究対象者	2009年1月1日～2019年9月30日までの間に当センター婦人科で卵巣腫瘍の手術を受けた患者さん約100名
	研究期間	西暦 2019年10月17日～西暦 2023年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	臨床研究所・宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所、婦人科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	東海大学医学部専門診療学系産婦人科学 教授・三上幹男 東京大学医科学研究所抗体ワクチンセンター(兼)滋賀医科大学医学部臨床腫瘍学 教授・醍醐弥太郎